様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 610401	公共駐輪場整備管理事業	主管課名	土木管理課
この事務事業の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域	課長名	竹谷　好裕
	施策	誰もが安心して出かけられるまち		
	基本事業	自動車利用から公共交通などへの転換		

(1)事業の概要

三好ヶ丘駅、黒笹駅及び三好上バス停利用者の利便性を向上させるために設置した駐輪場の管理を行う。

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)　①駐輪場の用地を確保し借地契約を締結する　②良好な機能を保持するため適切な管理をするため委託業務を発注　③委託内容の確認検査　④支払い事務

26年度計画　■前年と同様　□変更あり　変更内容

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	駐輪場の借地面積	㎡
②	清掃草刈の回数	回
③		

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①三好ヶ丘駅・黒笹駅・三好上バス停公共駐輪場

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	駐輪場箇所数	箇所
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①駐輪場を安全で安心して利用できる環境にする

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	駐輪場でのトラブル苦情件数	件
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

安心して便利に公共交通を利用できる

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	通勤時における自動車利用の分担率	%
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	㎡	1,432	1,476	1,476	1,476	1,476	1,476
	②	回	359	359	409	460	562	562
	③							
(6)の対象指標	①	箇所	3	3	3	3	3	3
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	件	13	3	10	10	10	10
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	%	75	77	77	77	77	77
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	08	項	04	目	02

(11)コスト

(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	1,420	1,972	2,144	2,647	2,647	2,647
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,420	1,972	2,144	2,647	2,647	2,647
人件費B		千円	1,131	1,113	1,113	1,113	1,113	1,113
	正職員従事時間×人数	時間×人	100 × 3	100 × 3	100 × 3	100 × 3	100 × 3	100 × 3
	正職員以外の人件費	千円						
その他費用C		千円	233	233	233	233	233	233
トータルコストA+B+C		千円	2,784	3,318	3,490	3,993	3,993	3,993
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ 箇所	928	1,106	1,163	1,331	1,331	1,331
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	610401	公共駐輪場整備管理事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
平成２年から　　から	放置自転車が増加している。 三好ヶ丘駐輪場に加え、黒笹駅駐輪場の利用者も増大している。
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
三好ヶ丘駅、黒笹駅、三好上バス停利用者の利便性向上を図る。	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
□変化していない ■変化している → 変化した内容：自転車利用者の増加と駐輪場利用者のモラルの低下	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	なし	
			この事務を行う根拠又は理由	公共交通機関利用者の利便性向上のため、駐輪場の管理に努める。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	駐輪場利用者のモラル向上が必要	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名		
			類似事業との再編の可能性	□ある □ない	内容
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要 □受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	↑　増加	事業費の方向性	↑　増額	成果の方向性	→　維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど	今後とも放置自転車の撤去及び自転車の整理を行う。 三好丘駅駐輪場については、カリヨンハウス屋上に駐輪場を増設し、なお不足する分は三好ヶ丘駅周辺魅力づくり検討委員会で検討していく。 黒笹駅駐輪場については、名古屋鉄道㈱と協議していく。					